第6回 千葉開府900年記念協議会議事録

- 1 日時：令和7年4月17日（木）午後1時30分～午後3時00分
- 2 場所：TKPガーデンシティ千葉 4階 コンチェルトB
- 3 出席者：別紙「出席者名簿」のとおり
（事務局）藤代総合政策局長、市倉総合政策部長
上坊寺都市アイデンティティ推進課長
白井都市アイデンティティ推進課課長補佐、その他事務局職員

4 議事

報告事項 令和6年度の取組み結果について

- (1) 令和6年度 収支決算(案)について
- (2) 令和7・8年度 事業計画(案)について
- (3) 令和7年度 収支予算(案)について
- (4) 寄附金について

5 議事の経過の概要

総合政策局長

ただいまより、第6回千葉開府900年記念協議会を開催します。

私は、司会を務めさせていただきます千葉市総合政策局長の藤代と申します。どうぞよろしくお願いたします。本日はご多忙の中、千葉開府900年記念協議会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

お時間に限りがございますので、本日の出席者のご紹介につきましては、出席者名簿を以て代えさせていただきますが、人事異動により本日初めて会議にご出席いただく方におかれましては、一言ご挨拶をいただければと存じます。

それではご紹介します。

千葉県警察千葉市警察部、部長 手塚正人様。

千葉市警察部

よろしくお願いたします。

手塚部長

ありがとうございました。

総合政策局長

なお、本日、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社支社長土澤壇様につきましては、代理として、地域共創部地域連携ユニットチーフ吉田祐介様にお越しいただいております。

また、一般社団法人千葉県経営者協会会長三枝紀生様は、ご都合によりご欠席となっております。

次に、本会の会長であります、千葉市長 神谷俊一より、ご挨拶を申し上げます。お願いたします。

神谷会長

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました千葉市長の神谷でございます。今日は年度初めのご多忙にもかかわらず、千葉開府900年記念協議会に、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また日頃から市政の推進につきましては、格別のご理解、ご協力を賜っておりますこと、心から感謝を申し上げたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉開府900年という歴史的な節目が、いよいよ来年に迫って参りました。

これまでも、準備、企画の具体化に当たりまして、絶大なご支援をいただいているところでございますが、今後事業実施に向けて、具体的に取組みが進んで参りますので、変わらず、ご指導をよろしくお願いしたいと思います。

900年という長きにわたる千葉の歴史と成り立ちを振り返りまして、その価値と誇りを次の世代へしっかりと引き継ぎまして、豊かな未来につなげていくのが千葉開府900年事業でございまして、極めて重要な機会ではないかと思っております。

今日の協議会では、その節目に向けまして、準備の推進状況や、今後の具体的な取組みについてのご報告、ご協議をお願いすることにしております。よろしくお願いいたします。

昨年度は千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとつづくり、文化づくりという基本理念を掲げ、千葉開府900年記念事業推進計画を策定いたしております。

この計画の中では、千葉氏の時代を切り開いた、いわゆるチャレンジスピリットを現代においても受け継いで、市民の皆様はもちろん、千葉市に関わるすべての団体、企業、大学の皆様にそれぞれの立場から、ご連携をいただきまして、一体となって千葉開府900年記念事業を推進していくための取組みの方向性を示したものでございました。

今年度はいよいよ本格的な実動の年としまして、記念事業の実施に向けた準備を着実に進めていく段階に入っていくと考えております。

千葉市への愛着や誇り、これを育みまして、地域のちからを引き出して、未来を切り拓いていくための土台づくりを行う大切な1年になると考えております。

本日はまず昨年度に実施した取組みの結果についてご報告を申し上げまして、その収支決算案についてご説明をいたします。

また、記念事業をさらに広く市民の皆様にご覧いただき、関心を持って

ご参加いただくための機運醸成策、さらには、多様な主体が積極的に参画できるような仕組みづくりなど、これからの2年間にわたる事業計画案についてご意見をいただきたいと思っております。

令和7年度の収支予算案と寄附金に関する事項につきましても、ご審議、ご意見をいただきたいと思っております。

この協議会とともに目指していきたいところは、千葉開府900年を一過性のイベントではなくて、豊かな郷土千葉市を、100年先の将来へ引継いでいける、持続可能なまちづくりを実現していくことにあると思っております。

より多くの皆様に千葉開府900年記念事業に触れていただき、この事業の意義をご理解いただきながら、積極的に関わっていただくことが重要ではないかと改めて感じております。

皆様方には、こうした視点を共有していただきながら、引続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

本日は貴重なご意見をいただけることをお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

総合政策局長

ありがとうございました。それでは、審議に移らせていただきます。進行につきましては、神谷会長に議長を務めていただきたいと存じます。それでは、よろしく願いいたします。

神谷会長

それでは次第にしたがいまして、審議を進めていきたいと思っております。

報告事項の第1号であります令和6年度の実績結果について、協議会が昨年度実施した事業の結果状況について報告をいたします。事務局から説明をお願いいたします。

総合政策部長

事務局を務めます総合政策部長の市倉でございます。本日はどうぞよろしく願いいたします。それでは、座ってご説明を申し上げます。

資料1、千葉開府900年記念令和6年度の実績結果についてでございます。おめくりいただきまして1ページ、令和6年度の実績結果の概要をまとめさせていただいております。

機運醸成に向けたプロモーションといたしまして、ロゴマーク、キャッチコピーを令和6年12月に決定いたしましたところでございます。ロゴマーク、キャッチコピーについては資料に記載のとおりでございます。

本日、お手元にクリアファイルをお配りさせていただいております。新ロ

ゴを活用した PR グッズの制作、ポスター、のぼり旗、クリアファイルなどを作成したところでございます。

また、特設ホームページを本年 2 月に開設をいたしました。

イベント出展 PR として、親子三代夏祭り、千葉氏 VR ゲーム体験会などを実施して参ったところでございます。

PR 動画の放映としては、千葉駅、海浜幕張駅のデジタルサイネージを使い、放映をいたして参りました。

民間企業様との取組みの促進でございますが、メンバーシップ制度を昨年の 12 月から運用開始しており、令和 7 年 3 月末時点で申請いただいた団体様が 105 件、登録件数が現在 100 件となっております。

クラウドファンディング活用支援としては、本年 3 月末までに 11 件のプロジェクトを実施しております。

参考で千葉市の取組みでございますが、現在郷土博物館のリニューアル工事を実施し、本年 11 月にリニューアルオープンの予定でございます。

また、千葉氏関連発掘調査といたしまして、千葉神社前の通町公園の調査を実施しているところでございます。

千葉国際芸術祭 2025 のプレ期間として取組みを実施してきたところです。

ラジオ体操 in 動物公園ということで、昨年 10 月 20 日に 300 人を超える来場者の皆様とともにラジオ体操を実施いたしました。

千葉開府 900 年記念いちごマラソンを本年 2 月 15 日の土曜日に、千葉市民ゴルフ場で皆様と実施したところでございます。

以下のページにつきましては、各項目の詳細となっております。

まず、2 ページでございますが、ロゴマーク、キャッチコピーですが、ご案内のとおり小中学生すべての方々にタブレット端末から投票に参加してもらいまして、ロゴマークの投票件数が 56,794 件、キャッチコピーにつきましては 55,772 件の投票の結果、これらのロゴマーク、キャッチコピーが選ばれたところでございます。

以下の内容につきましては、先ほど概要を説明したとおりでございますので、説明は省略をさせていただきます。

以上でございます。

神谷会長

説明、ありがとうございました。

それではただいまの説明に関しまして、ご質問、ご意見ございましたらいただければと思います。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは特にご意見、ご質問はないようでございますので、続いて議事を進めていきます。第1号、令和6年度収支決算案についてであります。

ただいま説明しました令和6年度の協議会の取組みに関する決算案を、事務局より説明してください。

総合政策部長

はい。資料2になります。

A4縦の1枚になってございます。

千葉開府900年記念協議会、令和6年度決算報告書になります。

収入、決算107,234円。支出0円となつてございまして、収支は107,234円でございます。

収入の内訳でございますが、寄附金をけやき会、千葉美食研究会様から、いただいたものでございます。

収支でございます107,234円につきましては、今年度に繰り越しをしたいと思つてございます。

以上でございます。

神谷会長

説明、ありがとうございます。

続きまして、今回の監事から令和6年度の監査結果について報告をお願いいたします。

千葉市町内自治
会連絡協議会
眞智会長

監事の眞智でございます。

会議に先立ちまして、監査を実施し、適正に処理されていることを確認しております。

以上でございます。

神谷会長

ありがとうございます。

ただいまの説明と、監査結果報告に関しまして、ご質問とご意見がございますでしょうか。

特にないようでございますので、よろしければ議事第1号 令和6年度収支決算について、ご承認いただける場合は、拍手でお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

一同

～拍手～

神谷会長

ご承認、ありがとうございました。

続きまして議事第2号でありますけれども、令和7・8年度の事業計画案につきまして、説明をしてください。

総合政策部長

はい。

資料3 令和7・8年度事業計画案でございます。

表紙をおめくりいただきまして1ページでございます。

こちらは以前にもお示しをいたしました、本事業の全体の体系図でございます。

千葉開府900年記念事業がございまして、1番として、協議会、千葉市が実施する記念事業、そのうち、(1)シンボル事業、(2)テーマ別事業、ア、人づくり事業、イ、文化・スポーツ事業、ウ、歴史関連事業、また大きな2番として、メンバーシップ制度などによりまして、市民や民間団体の皆様とともに実施する記念事業になっております。3番に、プロモーション事業を記載させていただいております。本協議会として実施をいたすものにつきましては、星印の赤字で記載をしているところでございます。

前回から変わりました点について、ご説明をさせていただきます。

千葉国際芸術祭2025でございますが、前回は文化スポーツ事業の一事業という位置付けでご案内をしてございましたが、今回につきましては、千葉開府900年の象徴的な事業ということで、シンボル事業の方に位置付けを変更させていただいております。

かつ、こちらにつきましてはレガシー事業ということで、今後も継続をして参りたいと考えているところでございます。

芸術祭と千葉開府900年の関係につきましては、2ページになります。

下の表でございますが、左から令和7年度、令和8年度、令和9年度の記載をしてございます。

千葉国際芸術祭2025は、今年度が本会期となっております。

また、千葉開府900年は、令和8年度に記念期間を迎えるところでございます。

芸術祭と千葉開府900年記念事業の関係でございますが、千葉国際芸術祭2025では、本市の地域資源の魅力を市民とともに、いろいろなアートプ

プロジェクトとともに、発掘をする取組みをして参ります。

千葉開府900年記念の様々な記念事業におきまして、多くの市民が参加することによりまして、芸術祭で発掘をされました地域資源をさらに多くの市民と共有をし、未来に向けて発展をさせて参りたいと考えているところでございます。

また、芸術祭につきましては、今後も継続するという事で、レガシー事業と記載をさせていただいたところでございます。

おめくりをいただきまして、3ページでございます。

令和7年度、令和8年度千葉開府900年記念協議会事業計画案でございます。

詳細につきましては後程出て参りますが、全体のものをこちらでご説明をさせていただきます。

左側から事業名、真ん中の列が令和7年度、一番右が令和8年度となっております。順に申し上げます。

シンボル事業ですが、まず記念式典は、令和8年6月1日月曜日、亥鼻公園において開催をいたします。令和7年度におきましては、その準備を進めて参ります。

記念まつりは、令和8年度の6月にTIPSTAR DOME CHIBAにおいて、YohaSと連携する形で開催をいたします。令和7年度につきましては、その準備を進めて参ります。

記念パレードにつきまして、こちらは初めて日にちを指定するものでございますが、令和8年11月21日土曜日に、千葉駅前大通りで開催したいと考えてございます。

また、記念モニュメントでございますが、令和7年度において、6月ごろまでにデザインの方向性を決定したいと考えております。

方向性の案につきましては、こちらで作成いたしまして、協議会の皆様には、書面において協議をさせていただきたいと考えてございます。デザインが決定するのは12月頃、クラウドファンディング等を開始するのが、来年1月～3月頃を予定してございます。

令和8年度になりましたら4月以降、モニュメントの制作を開始いたしまして、3月に完成をさせ除幕式を開催したいと考えているところでございます。

文化スポーツ事業でございますが、記念サイクリングを令和8年の10～11月ごろ、記念ウォーキングを1～3月頃、それぞれ大椎から亥鼻までのコー

スで考えているところでございます。

メンバーシップ制度につきましては、先ほどご案内のとおり、すでに実施してございますので、継続して参ります。

プロモーションにつきましては、令和7年度については、機運醸成を早期から実施をしたいと考えておりました、千葉駅前大通りのバナー装飾等を、年度の早い時期から実施をするべく調整をしているところでございます。

PR大使につきましては、来年1月ごろに決定をしたいと考えているところでございます。

令和8年度については、モノレールラッピングが4月ごろから走り始める予定でございます。また、千葉駅のモノレール連絡通路についても4月以降の装飾を予定しているところでございます。

続いて4ページでございます。

先ほどご説明しました協議会の事業以外に、市として実施する事業のご案内をさせていただきます。

まずシンボル事業でございます。

千葉国際芸術祭2025、令和7年度が本期間でございます。

また、ひとづくり事業としまして、中学生による記念事業の企画実施ということで、市内の全中学校の生徒会が学校ごとにそれぞれ企画を考え、各中学校で企画された記念事業を実施することになってございます。

小中学生の絵画展を本年実施いたしまして、2~3月頃に展示をしたいと考えてございます。

若者の海外派遣、起業家の海外派遣ですが、令和7年度については、国内研修、令和8年度については、海外研修を予定してございます。

郷土教育デジタルコンテンツにつきましては、今年度作成をいたしまして、令和8年度以降の活用を目指しております。

企業連携による若者参加企画については令和8年度より開催をいたしますが、連携の企業募集等は今後検討をして参ります。

文化スポーツ事業のうち、芸術祭以外のものになりますが、美術館での特別展示は、令和8年度に実施をする予定でございます。

千葉開府900年記念ラジオ体操でございますが、前回の本協議会でも多数のご意見をいただいたところでございます。

NHK様にもいろいろとご支援を賜りまして、本年7月25日金曜日に千葉公園の芝庭においてラジオ体操を実施いたします。

令和8年度、「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」につきましては、

現在申請をさせていただいているところでございます。こちらについての選定結果につきましては、本年末から来年になる見込みと認識してございます。

歴史関連事業につきまして、郷土博物館のリニューアルについては先ほどご説明したとおりでございます。

その他、千葉氏関連の資料集の刊行、遺跡の発掘、千葉氏サミットについては、令和8年度の親子三代夏祭りと同じ時期に、8月ごろに実施を予定しているところでございます。

街の発展がわかる動画制作については、今年度制作をいたしまして、式典で放映をする予定でございます。

次のページをおめくりいただきまして、ただいまご説明いたしましたものをカレンダー形式でお示ししたものになります。

左側の列が令和7年度、右側の列が令和8年度でそれぞれ月ごとにお示しをしております。

各事業の詳細につきましては、主なものだけご説明を申し上げます。

おめくりいただきまして7ページでございます。

本協議会が開催主催となつてございます記念式典でございますが、令和8年の6月1日月曜日、亥鼻公園において実施をする予定でございます。

また、8ページの千葉開府900年記念まつりでございますが、こちらも協議会主体ということで、令和8年6月の金曜日と土曜日の2日間、YohaSと連動させる形で、TIPSTAR DOME CHIBAにおいて開催する予定です。

続いておめくりいただきまして9ページでございます。

記念パレードですが、パレードのルートについては、現在このような形で、警察様と協議をさせていただいているところでございます。

先ほど申し上げましたとおり、実施は令和8年11月21日の土曜日、14時から17時の間の1時間から1時間半程度で予定をしております。

当日は、YORUMACHIのイルミネーションの点灯式を開催するというところで、そちらと連動しての実施を予定しているところでございます。

続いて10ページでございます。

記念モニュメントにつきまして、先ほど申し上げましたとおり、記念事業の最後になりますが、令和9年3月に除幕式を予定してございます。

場所については現在まだ調整中のところではございますが、千葉駅前のロータリーを考えてございます。

制作をするものは、千葉常胤の像を予定してございます。

また、デザインや大きさなどは、現在検討しているところでございます。6月ごろに方向性を決めまして、皆様に書面にてお諮りしたいと考えているところでございます。

その他の説明につきましては以前にご説明したものと変わりませんので省略させていただきます。

説明は以上です。

神谷会長

それでは、ただいまの説明に関しましてご意見、ご質問をいただければと思います。

はい、綱島局長、お願いします。

日本放送協会
千葉放送局
綱島局長

はい、説明ありがとうございました。NHK 綱島です。

何点かあります。

まずラジオ体操のところですが、今年は7月25日NHK ラジオ第1で朝6時半から全国に向けて、千葉公園からラジオ体操を放送するということが決まっておりますので、ぜひよろしくをお願いします。

来年のラジオ体操ですが、先ほど説明のあったとおり調整中でございます。かんぽ生命さんが決めることですので、NHKに決定権はありません。「1000万人ラジオ体操みんなの体操祭」については総合テレビで放送します。全国1か所だけですので、ZOZO マリンスタジアムで実施できて、ぜひ大きな動きになればいいと思っております。

それから質問ですが、モニュメントが開府900年事業においてかなり大事なポイントになると思っております。令和9年3月の除幕式は随分、後だなという感じがありますが、これは前倒しできず、決定事項でしょうか。また、モニュメントを誰が作るのか、千葉開府900年という歴史をどう表現するのか、話題性が必要だと思っております。千葉市への愛着や誇りを表現するために、未来へ向けてという意味合いも込めて、若い人が興味を引く、話題性を重視して欲しいなと思いました。

PR大使も重要な要素になると思えます。これは来年の1月に決定することですが、千葉市から全国へ向けて、千葉開府900年の事業がどれだけ認知されるのかも大事なので、NHKとしても、できることをやりたいと思っております。

私からは以上です。

神谷会長	ありがとうございました。 事務局、お願いいたします。
総合政策部長	ご説明いただきましたモニュメントでございます。 ページでいいますと、10ページだと思いますが、今のご説明の中では、令和9年3月というふうにご説明したところでございます。 大体制作に1年ぐらいかかると想定し、事務局としてスケジュールを組んだところでございますが、前倒しをするように調整をして参りたいと思いません。 説明につきましては以上でございます。
神谷会長	綱島局長、よろしいでしょうか。
日本放送協会千葉放送局 綱島局長	おそらくモニュメントが、外に表現する際最もシンボリックに発信できると思いますので、本当は記念式典のタイミングで完成するといいいのですが、このスケジュール感ですと難しいですね。であれば、このモニュメントへの期待感が広がって、市民も市外の人も見たくなるようなものになれば良いという感じがしました。 そういうことになれば、NHKの放送でも発信できるかと思えます。よろしく申し上げます。 以上です。
神谷会長	ご意見、ありがとうございます。 制作のプロセスも取り上げていただけるように、具体化していきたいと思えます。 ありがとうございます。 他にご意見、ご質問などいただけないでしょうか。 足立会長、申し上げます。
公益社団法人千葉市観光協会 足立会長	色々イベントなど考えていただき、全体的に素晴らしいと思っていますが、イベントはどうしても一過性のところがあります。ここにありませんが、千葉駅前大通りをよりにぎわいをもたらすような、そしてそれが将来にわたって千葉の発展、レガシーに繋がるようなことを、この千葉開府900年をうまく利用して、やっていくのが良いのではないかと、個人的には思い

ますが事務局はどうお考えでしょうか。

神谷会長

事務局、よろしいでしょうか。

総合政策部長

はい、ありがとうございます。

現在千葉駅前大通り、中央公園プロムナードにつきましては、千葉市において、どのようにしていくかという検討に入ったところでございます。

千葉開府900年においては、その辺りの姿が基本構想という形で少し見えてくるのではないかと考えておりますので、そういったものを含めまして市全体で千葉開府900年記念事業を盛り上げていきたいと考えております。

神谷会長

足立会長、よろしいでしょうか。

他にご意見ご質問はございますでしょうか。

はい、磯野委員、お願いします。

千葉市文化連盟
磯野会長

提案に賛成意見です。今回千葉国際芸術祭がこのようにきちんと位置付けられて、連携が図られたことは非常に大きいと思います。単独でやっていたので、私は両方の委員やっております心苦しいところではありましたが、こういった形で位置付けられたことによって、市民が文化に目を向けていきながら、千葉開府900年が位置付けられていくということで、子どもたち、小中学生も目を向けてくれれば変わってくるのかなということで高く評価しております。

ありがとうございました。

神谷会長

ありがとうございます。

はい、中元委員、お願いいたします。

千葉日報社
中元代表取締役
社長

はい。

皆さん言っているように事業計画案についてこれから進んでいくのが協議会委員としても楽しみですが、プロモーションの中で1点、PR大使の起用について千葉市を代表する芸能人とか、子どもたちとか、個別的に何か案が今のところあるのか、これから決めていくのかというところを教えていただきたい。もし、そのPR大使が決まるのであれば、先ほど、綱島委員が言っ

ていたようにモニュメントの制作にも使っていくのか、その辺を教えてください
だきたいです。

神谷会長

はい、事務局お願いします。

総合政策部長

はい。

現在 PR 大使につきましては、千葉市にゆかりがある著名人、芸能人の方
を想定しているところでございます。ただ個別の調整はまだいたしておりま
せん。そういった方々もあまり早い調整ができないということですので、今
年度に入りまして調整をスタートしたいと考えているところでございます。

またその方には、色んな場面でご協力をいただきたいと考えております
が、日程調整の関係でどこまで連携ができるかわかりませんが、できるだけ
露出を多くできるようにしていきたいと考えているところでございます。

神谷会長

よろしいですか。

はい、青柳委員、お願いします。

千葉テレビ放送
青柳代表取締役
社長

私も感想ですが、盛りだくさんでよくお考えになって、盛り上がる企画が
目白押しなのではないかと思えます。

ただ千葉開府900年をやる目的は当然、千葉という自分が住んでいる郷
土に対する愛着とか誇りとか、そういうものを若い世代に育てていくとい
うのが一番大きなテーマとしてあるのではないかと思います。いくつか先ほど
ご説明いただいた中で、小中学生の絵画コンクールとか色々な動きの中で、
当然その若い小学生、中学生、高校生が参加するイベントがたくさんあると
思いますが、そういうものになるべく若い世代が参加しやすいようなもの
をつくっていただくと、これからの開府900年、次の950年、1000年、と
いうふうに繋がっていくと思いますので、数多くの若者が参加できるよ
うなことをしていただければ、より充実したものになるのではないかと
思っております。

神谷会長

ありがとうございます。

事務局、お願いします。

総合政策部長

はい、ご意見、ありがとうございます。

私どもも若い方々、子どもたちには多く参加していただきたいと考えてお

ります。

本事業ですが、特に人づくりの部分、子どもたちが参加する部分、若者が参加する部分につきましては、総務省の地方創生 2.0 の事業として採択を受けたところでございます。

そういった部分が認められての採択と承知しておりますので、我々としても重点的に取り組んで参りたいと考えているところでございます。

神谷会長

久保委員、よろしくお願いします。

ベイエフエム
久保代表取締役
社長

ベイエフエム久保でございます。

いろいろ出していただきましてありがとうございます。

感想ですが、やはりどうしても中央区亥鼻というところに、場所が限定されていると思います。千葉市の多くの人に知ってもらうためには千葉市、特に幕張では新しい居住者がいっぱい来てるため、パレードなり、式典なり、何か、少しでも海浜幕張のほうで行うことが、何かあってもいいかなと思っております。

以上です。

神谷会長

はい、開催地のバランスのご指摘かと思いますが、事務局、お願いします。

総合政策部長

はい、ご意見ありがとうございます。

開催地でございますが、今回お示しするものは、どうしても歴史的な経緯から、千葉駅周辺が多くなってございます。ただ、この取組み自体は、市内でやっていく必要があると考えておりました、美浜区におきましてはまだ決定ではありませんが、先ほど申し上げました絵画展等が、美浜区内の、具体的にはイオンモール様でできないかという調整はさせていただいているところでございます。

それ以外の区につきましても、何らかの形で目に入るように、プロモーションを行っていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

神谷会長

それでは足立会長、お願いします。

公益社団法人千葉県観光協会 足立会長	質問で、先ほどの記念モニュメントですが、デザインの方向性は6月ごろに決まるということですが、実際に誰に制作してもらうかというのは公募になるのでしょうか。どういう形式になるのでしょうか。
神谷会長	はい、事務局、お願いします。
総合政策部長	はい。 モニュメントの募集方法、選考方法にいたしましてはまだ検討中の段階でございます。
神谷会長	ありがとうございます。 他にございますでしょうか。 佐久間会頭、お願いいたします。
千葉商工会議所 佐久間会頭	事業計画としてよくまとまっており、素晴らしいと思います。 これはお願い事項となりますが、千葉市には千葉交響楽団がございますので、記念事業や色々なところでお使いいただければと思います。よろしくお願いたします。
神谷会長	千葉交響楽団については、どういう形で参画いただけるか、今一度考えていきたいと思えます。 藤代副会長、お願いいたします。
千葉市を美しく する会 藤代会 長	一つ提案がありますが、千葉市は今、外国からの市民が増えてきております。外国から来た市民に対して、第二のふるさとである千葉市の歴史、この千葉開府900年という歴史を知ってもらう、或いは千葉開府900年をもとにどのような活動をしているのか、外国から来た市民に対して特化した何かイベントや事業をしていく必要もあると思っております。いかがでしょうか。
神谷会長	事務局、よろしいでしょうか。
総合政策部長	はい。 おっしゃるとおり千葉市は現在外国の方が非常に増えてございます。人口

で言いますと4%、4万人に近い状況になってございます。

そういった中で外国人の方々がお住まいになっている地域への愛着というのは非常に重要だと考えているところですが、外国人に特化したイベントというのは現在のところは考えてございません。

ただ、どういう形で外国人の方々にもアプローチしていくのかというのは、ぜひ検討していきたいと考えております。

千葉市を美しく
する会 藤代副
会長
神谷会長

はい、わかりました。

ご検討、お願いいたします。

ご意見ありがとうございました。

他にございますでしょうか。

様々なご意見をいただいたところでございますが、大枠としての事業計画案の方向性は、ご了解いただき、それぞれについて検討を深めていくべきと、また具体的なご提案もいただいたと捉えさせていただいております。

それでは今後2年間の事業計画について、議事の第2号の令和7・8年度事業計画案について、ご承認いただけますでしょうか。

一同

～拍手～

神谷会長

それでは議事の第2号についてご承認いただきましたので、この柱に沿って、検討を進めていきたいと思っておりますし、具体的な提案が各委員にもあると思っておりますので、そのときは随時事務局にお知らせいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

事務局には具体的なことを踏まえ、検討を進めていただければと思います。

続きまして議事の第3号に移らせていただきます。

議案第3号は、令和7年度 収支予算案についてであります。

ただいま説明をいたしました、今後実施していく計画事業のうち、今年度分、令和7年度事業分につきまして、その収支案をご確認いただくものとなっております。

事務局から説明をしてください。

総合政策部長

はい、資料は4番になります。

千葉開府900年記念、令和7年度収支予算案でございます。

裏面になります。

1、収入の部でございます。

千葉市からの負担金2,393万3,000円。

寄附金1,000万円、昨年度からの繰越金10万7,000円。

以上、収入の合計が3,440万円。

支出でございます。

来年度、記念事業の準備といたしまして、580万円。

また機運醸成のためのプロモーションといたしまして、2,644万円。

事務局の運営の諸経費といたしまして、180万円。以上支出の合計が3,440万円でございます。

令和8年度事業も含めましての債務負担行為を組みたいと考えてございます。

令和7年度から8年度分といたしまして、1億7,430万円。

その事業の内容につきましては、記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

神谷会長

支出の合計は3,404万円でしょうか。

総合政策部長

失礼いたしました。

3,404万円、収入支出とも3,404万円でございます。申し訳ございません。

神谷会長

はい、説明ありがとうございました。

それではただいまの説明に関しまして、ご質問ご意見ございましたら、いただければと思います。

よろしいでしょうか。

はい。

それでは特にご意見はないようでございますので、議案第3号、令和7年度収支予算案につきましては、承認とさせていただきます。

ありがとうございます。

最後になりますけれども、第4号の寄附金についてでございます。

市内外の多くの皆様に、この記念事業に参画していただきたいと思ってお

総合政策部長

りますが、取組みを進めていくための仕組みとして設ける寄附金制度につきまして、委員の皆様にご確認をお願いするものでございます。

それでは事務局から説明をしてください。

はい。

資料は5になります。

千葉開府900年記念寄附金について、でございます。

表紙をおめくりいただきまして、1ページになります。

寄附の方法ですが、以下の4点を考えてございます。

1、千葉市への寄附金、通常の企業の皆様、市内外の企業の皆様からのご寄附を千葉市に対していただくものでございます。

2、同じく千葉市への寄附金でございますが、特に市外の企業の皆様、市外に本社を所有する企業の皆様につきましては、企業版ふるさと納税という制度が扱えるところでございます。

3、千葉開府900年記念協議会、本協議会に直接ご寄附をいただくものでございます。

4、特に個人の皆さんを考えておりますが、千葉市への寄附金ということで、ふるさと納税のことでございます。

また、物品やサービス等の寄附についても、適当な金額に換算いたしまして、受入れをしたいと考えているところでございます。

寄附の種類でございますが、寄附額に応じまして、右にございますとおり、5つのステータスに区分をして、皆様に記念品等を差し上げたいと考えてございます。

左上、ダイヤモンドパートナー寄附額500万円以上の方。その右側にありますプラチナパートナー寄附額300万円から500万円未満の方。真ん中にあるのですが、ゴールドパートナー寄附額100万円から300万円未満の方。その下になります左側でシルバーパートナー寄附額30万円から100万円未満の方、右側ブロンズパートナー10万円から30万円未満の方ということで考えてございます。

またそれぞれのステータスにつきまして、現在検討している返礼メニューにつきましては、2ページにございます表のとおり、細かくなっておりますが、こういった返礼を考えているところでございます。

その他返戻メニューの詳細等については次ページ以降に記載をさせていただいてるところでございます。

	説明は以上でございます。
神谷会長	<p>はい、説明ありがとうございました。</p> <p>それでは寄附金の枠組み仕組みについての説明がありましたけれども、ご意見、ご質問などいただければと思います。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では横手学長、お願いします。</p>
国立大学法人 千葉大学 横手 学長	<p>はい。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>このパートナーやサポーターと、ブロンズパートナー以上の違いは何でしょうか。</p> <p>ふるさと納税の金額によって、パートナー、サポーターという形になるのか、その点を教えてください。</p>
神谷会長	はい、事務局お願いします。
総合政策部長	<p>はい。</p> <p>基本的にはすべて金額によってステータスを分けているところでございます。</p> <p>パートナーではなく 2,000 円の寄附の方、特に個人を想定しておりますが、そういった応援団の方々に対してサポーターという名前をつけているところでございます。</p>
国立大学法人 千葉大学 横手 学長	企業さんに対しては直接依頼をするとか、或いは企業団体を通じてという方法があると思いますが、個人に対する周知依頼というのは、どのような方法を考えて周知されていくのでしょうか。
総合政策部長	<p>現在、個人に対しての周知は、基本的には市の広報、ホームページ等を使う、SNS 等を使うことを考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
国立大学法人	先ほどの様々な事例もですが、リアルですと場所が限られたり、経費がか

千葉大学 横手 学長	かったりするため、そのような意味でも特に若い人に対しては、SNS の効果 というのは絶大だと思います。そのあたりのフォロワー数の向上、或いは魅 力的なコンテンツ作りなども含め、広く多くの方に知ってもらい、協力を仰 ぐと良いのかと思いました。 以上です。
神谷会長	ありがとうございます。 寄附の区分ごとにアプローチが異なるだろうと思いますので、区分ごとに 検討していただくようお願いいたします。 他にございますでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは周知やPR などについてのご意見をいただいたところでありますが、 こちらについては、具体的に今後ご意見に基づきまして、検討させてい ただくこととしたいと思います。 それでは議事の第4号寄附金につきまして、ご承認いただける場合は、拍 手などをお願いしたいと思います。
一同	～拍手～
神谷会長	金額の大きなパートナーにつきましては、個別にアプローチをさせていた だきたいと思いますので、今後また事務局からお願いにあがらせていただき たいと思います。 よろしく願いいたします。 それでは予定していた議案につきましては、質疑を行いまして、すべてご 承認いただいたところでありますが、最後に皆様からご自由にご意見をいた だきたいと思います。 何かございましたら、どんなことも結構でございますので、ご意見をいた だければと思いますが、いかがでしょうか。 はい、綱島委員お願いします。
日本放送協会千 葉放送局 綱島	ご説明ありがとうございます。 千葉開府900年、来年に向けての取組み、盛りだくさんですね。私は、

局長

全国転勤しておりますが、これだけのメニューと内容を実施する自治体も少ないと思うので、事務局の皆さん大変だろうなと思いつつも、素晴らしい取組みだと感じました。

1点、足立さんの観光協会の話しになるかもしれませんが、千葉駅や、海浜幕張駅など、大きな駅に人が集まり、これから来年に向けて盛り上がりたければいいな、と思います。例えばわかりやすい「食」で、何か千葉に行ったらこういうものを食べられる、というものが大きく出てくると市外の方も千葉に集まってくるだろうと思います。例えばB級グルメで千葉市に来たら、こういうラーメン、餃子が食べられるとかムーブメントを起こすような「食」を作っていただくようにしていただいて、もっともっと人がそこに寄ってくるような感じができるとうまいかと常日頃から思っております。「さんが」や「アヒージョ」も美味しいのですが、なかなかなじみがなく、もう少しわかりやすい「食」を、千葉市全体で作っていき、千葉開府900年で千葉に寄ってきてもらえるような動き、盛り上がる取組みを作りたいと感じる次第でございます。

以上です。

足立委員、何かありますでしょうか。

神谷会長

では、足立委員よろしく申し上げます。

公益社団法人千葉市観光協会
足立会長

綱島委員がおっしゃるとおり、寄附もさせていただいておりますが観光協会の中に千葉美食研究会というのがございまして、千葉の名物を作ろうと一生懸命やっていますが、そこで最初に作ったのが「さんが」でした。

宿泊で千葉に来て何を食べたいというものがいないため、コンビニで弁当を買って食べる人が一定数います。そのため名物をぜひ開発して欲しいというふうに日々言っておりますが、現状ではなかなか進まない状況がありまして、皆様方のアイデアも含め、色々いただけたらと思っている次第でございます。

よろしく願いいたします。

神谷会長

ありがとうございます。

非常に鋭い現状分析と、ご提言をいただいたと思っております。必要性は痛いほど感じているところでありますので、この機会に何か具体化できるも

のがあれば、非常に良いと思いますので、引き続き、何かしらの動きができないか、私もしっかり考えていきたいと思います。

他にご意見ございますでしょうか。

はい、横手学長お願いします。

国立大学法人
千葉大学 横手
学長

本当に素晴らしい取組みをされていてありがとうございます。感銘を受けております。

今の流れに通ずるところだと思いますが、千葉開府900年の時に我々が機会をいただけることはありがたいことで、運命的なイベントとも感じます。これをきっかけに千葉市が大きく世の中にアピールされ発展していく契機になると、さらに1000年目に繋がっていくと思います。ですので、先ほどのご提案とも繋がりますが、これを機会に千葉市の強みを、改めて集約して、そのアピールとこのイベントをリンクさせるような、取組みがあるとさらに魅力的になるのではと思います。

それで、食べ物にしても観光スポットにしても、インスタ映えするような工夫をするなどリンクさせていくと、さらに今後に繋がっていくようになると思います、具体的ではありませんが、提案させていただきます。

以上でございます。

神谷会長

はい、ありがとうございます。

千葉市の予算もいろいろあるので、なかなか1つに絞りにくいという特徴があるのではないかと、多方面から指摘をいただいております。そういった指摘をもとに、幾つかある地域の魅力の中で、市としては4つに絞って、PRしていければと思います。それが千葉氏、オオガハス、加曽利貝塚、海辺であります。これらは自然や歴史、文化であります。「食」といった面での絞り込みができてないというのが、現実、現状ではないかと思っております。いつもこの協議会では、最後にこの質問、意見交換の時間で非常に鋭いご指摘をいただいているところでありますが、千葉開府900年記念事業というのは、地域資源の魅力を今一度市内外の方にわかっていただいて、将来何を受け継いでいくのかということをも改めて認識する機会でもあるのではないかと考えております。プロモーションの考え方、戦略についてもこれを機に、改めてご指摘いただいた委員の皆様のご意見をもとに見直していく必要があると思っております。

千葉市の地域資源の魅力を知っていただく取組みが幾つかあり、芸術祭は

その筆頭であります。5月には千葉市の美術館が30周年を迎えます。特別企画展を年間通じて行いますので、千葉市の文化、芸術の1つの重要な拠点である美術館についてもより知っていただける機会もありますし、7月には、国際性豊かな都市ということで、バレーボールネーションズリーグが行われます。9月は芸術祭でコア期間が始まり、11月には郷土博物館がリニューアルオープンし、街の変遷、陸運と、海運が交わる場所として、都市機能を蓄積してきた街の成り立ちがわかる展示にもなります。今後のプロモーションの柱を見直していくのとあわせて、すでに予定されているものだけでも、地域資源の魅力をかなり知っていただける事が今年行われますので、市内の方にはしっかりお伝えしていくこともやっていければと思います。

ご指摘は、そのとおりだと思いますので、しっかり肝に銘じて、今後具体化していきたいと思います。

ありがとうございます。

その他、何かございますでしょうか。

はい、ありがとうございます。

それでは他に意見などないようでございますので、今日の協議会は、以上をもちまして締めさせていただきますと思います。

非常に活発かつ貴重なご意見をいただきました。

誠にありがとうございました。

今後もより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは事務局に進行を戻します。

総合政策局長

皆様、お疲れ様でございました。

非常に濃密な内容と重要なご指摘を頂戴したと考えております。

事務局といたしましても、今日いただきましたご意見を踏まえまして、これから計画に反映させて参りたいと考えております。

それでは以上をもちまして、第6回千葉開府900年記念協議会を閉会とさせていただきます。

次回の協議会の日時、場所の調整につきましては、決まり次第改めてご連絡をさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。